

## 火山と地震にかんする読書ガイド

(◎—大変よい, ○—よい, □—まあまあ, ●—小中学生向き)

(火山学・地震学の基礎)

●地震のひみつ 力武常次(監修) 学研 800円

地震学一般に関する学習まんが—小学生・中学生向き。

●地球は生きています 大竹政和(著) 小峰書店 1200円。

地震や火山の噴火は、私たちに地球が活着していることを教えてくれます。少しずつ動き続ける大地のことなど、楽しい地球物理学入門。

●火山をしらべる(えほん) 白尾元理(著) 岩崎書店 2000円

火山のおいたちや噴火史などの調べ方を小学生向けにわかりやすく解説した異色の絵本。

●地震をしらべる 茅野一郎(著) 小峰書店 1300円

地震学と地震防災の基礎知識をやさしく解説。小学校高学年～高校生向き。

□富士山の噴火—万葉集から現代まで つじよしのぶ(著) 築地書館 2060円

古文書から富士火山の噴煙の消長の歴史を編み上げる話。大阪弁もまじえた平易な語り口で読みやすい。産経新聞の連載記事がベース。

○地震は妖怪 騙された学者たち 島村英紀(著) 講談社α新書 780円

地震をテーマとしたエッセイ集。気軽に読めて、かつ面白い。

○火山はすごい—日本列島の自然学 鎌田浩毅(著) PHP新書 740円

火山学者が書いた非常にわかりやすい火山学解説書。日本の5つの火山(阿蘇山、富士山、雲仙普賢岳、有珠山、三宅島)の生い立ちや噴火について、自身の体験談を含むエッセイの形をとっているが、それと意識しないで火山学の基礎的事項についても学べるように工夫されている。

○大地の動きをさぐる(岩波科学の本) 杉村 新(著) 岩波書店 2000円

長期間かけて起きる地殻変動というものをどのように研究していくのかを、解きほぐすようにやさしく語る本(中学生～高校生向き)

□地震列島日本の謎を探る 日本地質学会(編著) 東京書籍 1500円

地震・火山・地殻変動についての初歩的な解説集。1テーマ2ページとなっているうえに図も豊富で、初心者でもわかりやすい。

○Q&A火山噴火—日本列島が火を噴いている!(ブルーバックス) 日本火山学会(編) 講談社 860円 一般市民・生徒からの素朴な質問に一線級の火山学者たちが直接回答した本。日本火山学会のホームページにあるQ&Aコーナーに掲載されたものから編集。

○大地の躍動を見る—新しい地震・火山像 山下輝夫(編著) 岩波ジュニア新書 740円

地震学・火山学の研究最前線や最近のトピックスを中学生～高校生向けにやさしく解説した本。

○地震がわかる(アエラムック) 朝日新聞社 1200円

日本を代表する地震研究者たちが、自分の得意なテーマを高校生・一般市民向けにわかりやすく解説している。

○富士を知る一特集／富士山災害予測図 小山真人（編著）集英社 1900円

火山としての富士山を自然科学のみならず、歴史・文化・芸術などのさまざまな面から解説した本。とくに現在作成途中の富士山ハザードマップ（災害予測地図）の詳しい解説あり。

□フィールドガイド日本の火山Ⅱ 高橋正樹・小林哲夫（編）築地書館 2000円

日本各地の火山の野外見学ガイドブック。第Ⅱ巻は富士山・箱根・東伊豆・伊豆七島などの火山を扱っている。

（地震・火山防災）

●富士山ふん火のひみつ（えほん） 小山真人（著）文溪堂てのひら文庫 130円

火山としての富士山の自然を小学生に向けてやさしく解説。もくじ：江戸時代に起きた大ふん火／よう岩がつくった富士五湖／生きている地下のマグマ／富士山のふん火に備える／富士山はどのように成長したのか／火山のめぐみとわたしたちの暮らし。教材扱いなので出版社に直接注文する必要あり

●津波ものがたり（えほん） 山下文男（著）童心社 1240円

津波の性質と恐ろしさを語るすぐれた絵本。

●もえよ稲村の火（えほん） 桜井信夫（著）PHP研究所 1300円

津波から村をまもった偉人の話。戦前の教科書には必ずのっていた題材。

◎死都日本 石黒 耀（著）講談社 2300円

日本列島全体で1万年に1度程度しか起きないはずの巨大噴火が現実に南九州で起きてしまった時、どのような現象が起き、日本社会がどう対応するかを精密にシミュレートした近未来小説。息もつかせぬ展開で、読み始めたら止められなくなる。映画化の構想もある。

◎関東大震災 吉村 昭（著）文春文庫 380円

1923年関東地震とは何であったかを知るためのもっともすぐれた解説書。物語調でよみやすい。予知にまつわる科学者間の葛藤、被害の悲惨さ、地震直後のパニックから起きた朝鮮人虐殺事件等を赤裸々に描く。

○火山に強くなる本 火山防災用語研究会（編）山と溪谷社 1200円

火山学と火山防災に関する基礎的な事項をわかりやすく説明している。全ページカラーでとっつきやすい。ただし、全体にあっさりし過ぎていて、物足りない点や抜けている点が目立つ。

◎東海地震がわかる本 名古屋大学災害対策室（編）東京新聞出版局 1500円

東海地震に関連する常識や最新の知識がわかりやすく解説された本。静岡・神奈川・愛知・岐阜・三重県民の必読書。

◎大地動乱の時代 石橋克彦（著）岩波新書 620円

東海～南関東地方はなぜ巨大地震に襲われるのか、そしてその場で生活する住民に待ち受けている未来（小田原地震→東海地震→首都圏直下地震）を、厳密な歴史考証と優れた洞察力から探った大作。著者は、現在の東海地震＝駿河湾地震説をとらえた著名な地震学者。

○活断層大地震に備える 鈴木康弘（著）ちくま新書 680円

活断層やその防災に関する基礎知識や最新知識がわかりやすくまとめられている。

◎大火砕流に消ゆ 江川紹子（著）文芸春秋 1400円

1991年6月3日の雲仙普賢岳大火砕流でなぜ大勢の犠牲者が出たかをマスコミ人の視点から追及。

◎桜島噴火記 柳川喜郎（著）日本放送出版協会 1500円

近代国家としての歩みをはじめたばかりの日本を襲った未曾有の大災害―大正3年桜島噴火の様相を克明にえがく。予知情報伝達の失敗、噴火にともなう大地震、跋扈するデマと混乱など。噴火予知と情報伝達の問題を深く考えさせられる。

◎火山に魅せられた男たち 噴火予知に命がけで挑む科学者の物語 デイック・トンプソン（著）山越幸江（訳） 2400円

セントヘレンズ火山の1980年噴火やピナツボ火山の1991年噴火にアメリカの火山学者たちがいかに立ち向かったか。科学者同士および科学者と社会との葛藤を描くノンフィクション。

◎阪神・淡路大震災の教訓 石橋克彦（著）岩波ブックレットno.420 400円

地震の基礎知識、日本の地学的状況、阪神・淡路大震災の位置づけと問題点、日本の地震予知の現状と問題点、地震と共生する文化のつくり方など、多方面にわたる知識や問題提起を短い文章の中に結集した傑作。

○富士山宝永大爆発 永原慶二（著）集英社新書 740円

1707年に起きた富士山宝永噴火が、当時の社会にどのような被害や影響を与えたか、そしてその災害に人々はどのように立ち向かっていったかを、歴史資料の分析から描く。

○活断層とは何か 池田安隆・島崎邦彦・山崎晴雄（著）東京大学出版会 1854円

地震と活断層についての総合解説書。図が豊富でわかりやすく、よくまとまっている。地震とは何か、活断層とは何か、活断層の調べ方、活断層から何がわかるか、活断層がおこす地震災害の順に話がすすめられ、最後に日本の研究・教育・防災体制への提言まで述べられている。

（地震・火山情報を社会に役立てるために）

◎トンデモ本の世界（宝島社文庫）と学会（編） 667円

トンデモ本とは、著者は大まじめでも、はたから見れば大笑いのトンデモない本のこと。しかし、なぜおかしいのかわからないようだ、あなたはちょっと危ない。

◎予言の心理学 菊地 聡（著）KKベストセラーズ 1500円

○超常現象をなぜ信じるのか 菊地 聡（著）講談社ブルーバックス 860円

上記2書とも、日本人が（学者もふくめて）なぜ「予知」「予言」を簡単に信じてしまうのか

を心理学的に見事に解き明かしている。防災および防災教育に携わる人間の必読書。

○人間を幸福にしない日本というシステム カレル・ヴァン・ウォルフレン（著）篠原勝（訳）  
毎日新聞社 1800円

なぜ日本はこんなに息のつまるような国なのか。その謎を社会構造や人々の意識から根本的に解き明かす。

○リスクとつきあうー危険な時代のコミュニケーション 吉川肇子（著）有斐閣選書1600円  
専門家が知り得た情報を市民に伝達する場合に何が必要かを懇切丁寧に説明し議論した本。

（地震・火山の事典と資料）

○地震・火山の事典 勝又 護（編）東京堂出版 5800円

地震と火山の用語辞典。簡潔明瞭。

□最新版 日本被害地震総覧 [416]-2001 宇佐美龍夫（著）東大出版会 28000円

日本の歴史時代における被害地震の規模・様相などのデータベース。史料調査の集大成。

□活断層詳細デジタルマップ 中田 高・今泉俊文（編）東大出版会 20000円

日本全国の活断層の最新分布図。DVD-ROM版であり、中身を見るためにはパソコンが必須。

□新編日本の活断層一分布図と資料 活断層研究会（編） 36050円

日本全国の活断層分布図（1/20万）と解説。

（プレートテクトニクスと日本列島）

●生きている地球（岩波グラフィクス） 上田誠也（著）岩波書店 1200円

プレートテクトニクスに関する優れた解説書（中学生～一般向き）

○地球・海と大陸のダイナミズムーそれでも地球は動く（NHKライブラリー） 上田誠也（著）  
NHK出版 870円（中学生～一般向き）

プレートテクトニクスに関する優れた解説書（高校生～一般向き）。

◎日本列島の生い立ちを読む 斉藤靖二（著）岩波書店 1200円

日本列島の地質とプレートテクトニクスに関するもっとも優れた解説書。平易で初心者向き。

○南の海からきた丹沢ープレートテクトニクスの不思議 神奈川県立博物館（編）有隣新書  
980円 日本付近のプレートテクトニクスを語る上で欠くことのできない伊豆・小笠原弧と本  
州弧の衝突に関する解説書。